

まちの元気グループ紹介

われら

@おくいずもん

仁多郡猟友会 (長田班)

猪などの鳥獣駆除に活躍されている仁多猟友会の皆さんを紹介しませ

ず。 亀高・布勢・三沢などがらうらら名



オレンジジャケットが目印 (仁多郡猟友会のメンバーの皆さん)

奥山田に集合し猟に出発。猟期シーズンの週末は銃を持った仲間たちでついでついでとこの山です。

シーズン中はもちろん、他の時期も駆除に奔走・活躍され、年間の駆除頭数は猪が100頭余り。シーズン中には町外からの猟師も参加されています。

犬を放つ銃猟から農を仕掛ける罠猟までを展開し、捕獲の際は駆けつけ駆除。害獣、特に猪は嗅覚が鋭く知恵者であり、容易に駆除罠に侵入せず捕獲が難しいとのこと。性格や氣質を熟知した猟師でないと獲れません。他の農でも同様で駆除はなかなか難しいです。

熟練の技術と勘が必要な中、成果を上げているのが、この長田班。長田リーダーを中心に仁多はもちろ

ん横田地域・広瀬・比田・久野と仲間が集い、情報を集約し、チームワークを大切にされている皆さん心優しいおしさんグループです。

リーダー・長田恒生さん(60歳)は近隣の山は峰から谷までほぼ熟知し、また、射撃の団体県代表選手としての経験があり、食肉加工の免許も持たれ頼もしい限りです。

切り取り線

郵便はがき

6 9 0 8 7 9 0

579

料金受取人払郵便

松江中央局
承認

922

差出有効期間
平成27年10月
19日まで

奥出雲町横田 1037

奥出雲町議会
議会広報特別委員会 行



切り取り線

編集後記

4月は入学、就職などで夢と希望に燃えた新生活がスタートする。統一地方選の後半戦もスタートした。地方創生を誰に託すのか。人口減少と少子化が同時に進む社会の中で覚悟の政治が求められている。

奥出雲町も10周年を迎え新しい節目のスタートとなる。新仁多庁舎建設も本格的にはじまり、冬の寒さから春を待ちわびた核のように、私たちの心もうさうさして行く。

奥出雲町も「地方版総合戦略」を求められているが、地方創生は自治体の知恵比べでもある。

政府は3月31日「食料・農業・農村基本計画」を閣議決定した。食料自給率の目標が従来の50%から45%に引き下げ実現可能な目標を設定したが、初めて示された「食料自給力」と農業の6次産業化が問われている。

(内田いさむ)



合併10周年記念「第1回奥出雲ウルトラおろち100km遠足」が開催されました。100km、60km、リレーの各部に北海道から沖縄まで全国各地から約500名参加いただきました。遠足は競走ではなく、自然や人とのふれあいを感じながら走ることとのこと。奥出雲の新たな名物となりそうです。

表紙の写真 60kmの部スタート (カルチャープラザ仁多)